

■参加者数

15名

■当日のプログラム

（区からの説明）

○活用方法（素案）について

（グループごとに意見交換等）

○区からの説明に対する質疑等

○意見交換テーマ①

どのような公園エリア・共有エリアだったら、子どもから高齢者まで誰もが使いやすくなると思いますか？

○意見交換テーマ②

消防エリアの有無によって、天沼地区や他のエリア（公園エリア・共有エリア・子どもエリア）はどのようになると考えますか？

（全体での意見交換）

○グループごとの意見交換等を踏まえた感想など

■意見一覧

○区からの説明に対する質疑等

公園と広場との違いは？
公園なのか、原っぱなのか、庭園なのか。
公園エリアを人工芝にすることは考えているのか。
公園は24時間オープンになるのか？
共有スペースの持つ機能について、天沼小学校・天沼中学校との連携、共用を検討しているのか。
共有エリアの動線がわからない。児童館とどのように分けるのか。
共有エリア・子どもエリア2～3階建ての内容やビジョンはあるのか？
各エリアのビジョンをどう考えているのか？
保育園と不特定多数が利用できる場が混在するのはリスクがあるのではないか。
子どもエリアのセキュリティゾーンはどのように考えているのか？
子どもエリアの活用方法についての説明が大事。
子どもエリアの移転整備は決定事項なのか。
消防署が移転してきた際、一番奥まった場所（日大二高通りに近い現在の北門に近い場所）の方が良いのではないか。
消防署の位置と消防団？

消防署の配置。
荻窪消防署天沼出張所を移転整備した場合、道路の問題はどうするのか。
道路の実態調査は？
緊急車両の種類や台数について、旧若杉小学校跡地の狭い場所に配備可能なのか。
荻窪消防署天沼出張所の上荻保育園及び上荻児童館移転後の跡地への移転は、エリア外となるが法令上問題ないのか。
上荻保育園跡地に荻窪消防署天沼出張所を移転するのか？移転しない場合の活用方法は？
防災ありきで、公園エリア、共有エリアを考えてほしい。
公園エリア・共有エリアとも、防災機能を備えることができるのか？非常時に食料のストックはどの程度あるのか？
震災救援所機能を入れるのか、入れないのか。天沼地区、近隣地区とのバランスで、このスペースをどう考えるのか。
震災救援所としての機能を重視した建物（屋内）と公園（屋外）を充実させてほしい。
エリアの全体像とバランス、周辺環境の説明。
周辺施設の移転のことも考えてほしい。
居住地域と病院との関わり。
地下をどう考えているか？
貯水槽など、地下備蓄倉庫はどのように考えているのか？
障害児保育はどのように考えているのか。
安易な建物建設ではないか？
工期がかかりすぎ。民間ではありえない。
令和7(2025)年12月の活用方法案に関する説明会は、地域住民等が自由に参加して質疑・意見を言える場とするのか？

○意見交換テーマ①

どのような公園エリア・共有エリアだったら、子どもから高齢者まで誰もが使いやすくなると考えますか？

該当するエリア	付せんに書かれた意見
公園エリア	子どもたちに伸び伸びと遊ばせてあげたい。
	近くの公園と被らないような環境。
	名称「若杉防災公園」。遊具 NG、桃井原っぱと同じ。
	たくさんの遊具がある。大きな遊具がある。
	子どもたちの安全を考え、広場が見渡せるように、周辺に樹木ゾーンがほしい。
	子どもが遊べたり、散歩コース。
	体操など、高齢者の集いの場。
	広く散歩のできる公園、高齢者の憩いの場。
	人との交流、つながりが生まれる公園にしてほしい。
	防災の点と日陰を作る点から、高い樹木を多く植えるべき。
	防災の観点、暑さ対策から、みどりが多いと良い。
	震災時にも利用できるように、水はけの良い地面。
	震災時に色々な活用ができるスペースにしてほしい。テント、ペット連れの人たち。
	人工芝であれば、メンテナンスがしやすい、ケガ防止、安全に遊べる。
	芝生は賛成だが、虫やメンテナンスが大変かも。
	マンホールトイレ、井戸、テントスペースなどの、防災機能。
	スペースにテントや車がどの程度建てられるのか。
	花見、月見ができる防災公園。
	桜並木のある公園になってほしい。
	屋根のあるスペース。
	日陰ゾーンがほしい。
	みどり豊かな公園、共生。
	有事の屋外病院として利用。
	ヘリポート、仮設住宅。
	駅前滞留、帰宅困難者対応。
	給水設備、物資配給所。

	手洗い場が欲しい。
	花鳥風月のサイクル（人と人をつなぐきっかけ）。
	森林や竹林をベースにした日本庭園。
	対話で積み重ねてきたコンセプトを公園の設計に生かしてほしい。
共有エリア	子どもたちの居場所づくり。
	中高校生が利用できる、子ども食堂（震災時に利用可能）、誰でも年寄りと。
	高齢者スペース。
	子どもも、高齢者も交流できるようにカフェなど。
	保育園やゆうゆう館など、世代に合わせた施設。
	子ども食堂や町会、地域の人に参加できる飲食などができるスペースと備品の設置。
	子ども食堂、災害時にも利用できる調理機能。
	子ども食堂。
	キッチン機能。
	共有エリアと子どもエリアの一体運営。
	フリースペースがあるため、セキュリティ対策として区別することが必要。
	話ができてくつろげる広い空間 vs 静かに過ごせる。半個室空間の両立？
	調理スペースを設けることで、震災時に使えるようにする。
	災害時に活用できるスペースを。
	災害時の救援所機能を基本に考える。
	避難場所は体育館の代用は？共有エリアの確保、施設の活用等の説明が必要。
	震災時に使用できる独立したトイレ。
	防災倉庫。
	小学校や中学校と合同で利用できる図書室があると良い。
	図書コーナースペース。
	ガラス張りで外から見やすい施設。
	Wi-fi。
	各階に多目的トイレ。
	どこでも誰でも椅子たくさん。
	ゲームができるスペース。

	カフェやコワーキングスペース。
	カフェ。
	ドリンクバー。
	キッチンカー等の利用、喫茶室など。
	100 人ホールを作ってほしい。
	荻窪野音野外音楽室。
	駅に近いので、夜遅くまで使える施設。
	図書館にあるような文士村や原水爆禁止署名展示など、文化的な活用ができるように。
	子ども当事者の意見を尊重。
公園エリア・共有エリア	全体代が利用できる、公園エリアと共有エリアの活用。
その他	時代の流れ等も考慮する（各世代での施設の利用）。
	子どもエリアの整備は良いと思う。
	子どもエリアの移転を区が決断したのであれば、それは受け入れたい。
	子どもエリアの夜間目的外利用。
	保育園に園庭があると良い。
	R9. 4. 1 解体開始、R11 防災公園開園、R12 建物開設、R13 消防署開設。 まずは防災公園を開園しましょう。
	病院との対応。
	所得の再配分機能。
	他自治体の経過等を調べると良いのでは。

○意見交換テーマ②

消防エリアの有無によって、天沼地区や他のエリア（公園エリア・共有エリア・子どもエリア）はどのようなと考えますか？

本当に必要ならば必要な施設。
消防エリアを移転整備した場合、近隣住民は不安だが、防災効果の向上や治安が良くなるのではないかな。
天沼出張所のエリアを踏まえると、旧若杉小学校跡地に移転整備した方が良い。
道が一方通行で狭いため、上荻保育園及び上荻児童館移転後の跡地を活用した方が良い。
防災の観点で、消防署があると心強い。
発達障害のある子、自閉症の子などは敏感なので、環境には配慮が必要。

消防エリアを整備するのであれば、北西に配置し、子どもエリアは駅に近い南東へ配置すべきではないか。
移転場所が日大二高通り側でないのはなぜなのか。
日大二高通り側に出入口。
音の問題が大きい。
消防エリアは音の問題等で反対。
子どもの数が減るため、この地域には消防がほしい。訓練も願いたい。
消防エリアがなければ、旧若杉小学校跡地を広く活用することができる。
必ず移転する必要があるのであれば、早めにするべき。
防災と防犯の共通拠点。
震災時の避難場所として想定しているので、区分けも必要。
緊急車両は小型車（軽）などを多く配備する。
荻窪消防署天沼出張所を移転整備すれば、財産交換できるのではないか。
子どもエリアのような、メリット・デメリットの表があった方が良い。
周辺にスタンドパイプを増やせば、地域の人でも活用できる。
病院位置を認識したロケーション。

○全体での意見交換

ワークショップから継続して参加しているが、素案は参加者の総意となっているのではないか。12月の活用方法案に関する説明会で出た意見を踏まえて、地域住民の意見を十分に反映した活用方法としてほしい。また、公園を整備するに当たっては、高い樹木を植えることで、日陰を作ってほしい。
消防エリアは旧若杉小学校跡地に整備してほしい。公園エリアを整備するに当たっては、子どもたちが遊んでいる姿を大人が見回れるような配置や日陰を作ることが必要だと考えている。また、どの世代も使えるような設えや、子ども食堂が実施できるようにしてほしい。
子どもから高齢者までが楽しく過ごせる場所にしてほしい。今も病院に緊急車両が来ることで音がうるさいため、消防エリアの整備は反対。
消防エリアを整備することで、公園エリアや共有エリア、子どもエリアなども安全に利用することができるのではないか。ただし、配置はもう少し検討しても良いのではないか。
屋内でも、屋外でも、震災救済所として活用できるような場所にしてほしい。震災時にも応用できるような機能を整備してほしい。
消防エリアを整備した場合、病院に加えて緊急車両の往来により、サイレン音や通行量が増えることには抵抗がある。道路の通行量について調査が必要ではないか。桜並木がほしい。
100年後、今後の子どもたちに残せる施設になってほしい。
共有エリアと子どもエリアを一体運営できるような仕組みづくりをしっかりと検討してほしい。また、児童館を整備するに当たっては、中・高校生の意見を反映してほしい。

住宅が密集している状況を踏まえて、防災を重視して跡地活用を検討してほしい。建物を建設した場合、80年程度使用することになるため、十分に検討してほしい。
公共スペースを地域がどうやって受け止めるのかが重要。今後、設計などで具体化が図られる中で、地域住民にしっかりと情報を提供してほしい。
公園エリアは、みどり豊かな場所にしてほしい。共有エリアは、カフェなど、にぎわいが生まれ人が集まる場所にしてほしい。または、備蓄倉庫や貯水槽の整備などを検討してほしい。
子どもたちや地域住民ための施設になることを期待している。また、子どもたちが将来誇りに思えるような施設にしてほしい。
町会として、誰一人取り残さないために様々な事業を実施している。地域の防災力を向上させるためにも、自分たちの街は自分たちで守るという意識のもと、旧若杉小学校跡地の活用方法を検討したい。
近年、国や東京都では、富士山の噴火などに備えて準備を進めているため、区としても、防災の考え方を変えていってほしい。また、誰もが来たくなる、交流が生まれる場所にしてほしい。
荻窪駅前滞留者、帰宅困難者への対応を含めて、跡地活用について検討してほしい。また、スケジュールは遅れが生じないように取り組みを進めていくこと。